

福島県郷土資料情報

No.61 2021.3

(特集「福島県立図書館所蔵大正期以前地図・絵地図目録」)

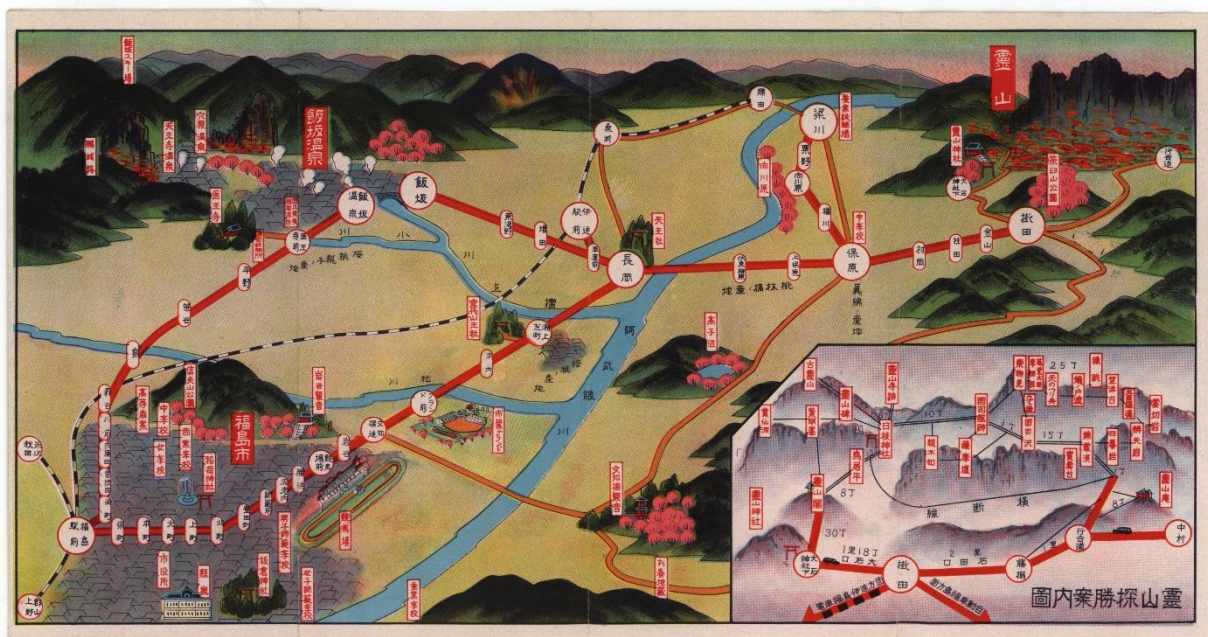
編集・発行:福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1

Tel 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fcs.ed.jp/>



『飯坂温泉 霊山』(部分)

福島電鐵／[編] 福島電鐵 [出版年不明]

目 次

特集「福島県立図書館所蔵大正期以前地図・絵地図目録」	1～6
貴重郷土資料探照 21「茂庭村文書」	7～9
令和2年度「朝河貫一博士から学ぶふくしまの未来 講演会」報告	10
令和2年度「ふくしまを知る連続講座」報告	11～12
福島県関係書誌の紹介 2020	13～17

福島県立図書館所蔵大正期以前地図・絵地図目録

『福島県郷土資料情報 No.43』に当館所蔵の明治期以前地図・絵地図目録を掲載しましたが、今号ではNo.43発行以降に受け入れした資料で大正期以前の地図・絵地図を掲載する資料を一覧にいたしましたのでご利用ください。[]で囲んでいる部分は推定です。図書の一部に地図を含むものについては備考で地図について記載しました。

No		請求記号	書誌情報	備考
1	●	L291.1/F25/2	飯坂温泉 霊山 福島電鐵／[編] 福島電鐵 [出版年不明] 19×54cm(折りたたみ19cm) 1枚	デジタル化資料でご利用ください
2		L212/N11/1	二本松城下図 [出版者不明] [出版年不明] 30×42cm(折りたたみ30×21cm) [8]枚	※複製資料
3		L212/Y11/1	山木屋村 郷土誌 山木屋小学校／[編] [出版者不明] [出版年不明] 26cm 1冊	※複製資料 「沿革図(其一)」、「〃(其二)」、「〃(其三)」、「〃(其四)」各1枚
4		L291.03/D3/1-2	吾妻山 大日本帝国陸地測量部／編 大日本帝国陸地測量部 明治45.1(1912) 46×58cm 1枚 5万分の1	
5		L291.03/D3/16-2	川俣 [地図] 大日本帝国陸地測量部／[編] 大日本帝国陸地測量部 1912.3 46×58cm 地図 1枚 5万分の1	
6		L291.03/D3/21-2	郡山 [地図] 大日本帝国陸地測量部／[編] 大日本帝国陸地測量部 1920.4 46×58cm 1枚 5万分の1	
7		L291.03/D3/22-2	桑折 [地図] 大日本帝国陸地測量部／[編] 大日本帝国陸地測量部 1912.3 46×58cm 1枚 5万分の1	
8		L291.03/D3/30-2	二本松 [地図] 大日本帝国陸地測量部／[編] 大日本帝国陸地測量部 1912.1 46×58cm 地図 1枚 5万分の1	
9		L291.03/D3/35-2	小野新町 [地図] 大日本帝国陸地測量部／[編] 大日本帝国陸地測量部 1919.5 46×58cm 地図 1枚 5万分の1	
10		L291.03/D3/38-2	関 [地図] 大日本帝国陸地測量部／[編] 大日本帝国陸地測量部 1912.1 46×58cm 1枚 5万分の1	

11		L291.03/D3/52	若松 大日本帝国陸地測量部／編 大日本帝国陸地測量部 1917 46×58cm 1枚 5万分の1	
12		L291.03/D3/55	福島 大日本帝国陸地測量部／編 大日本帝国陸地測量部 1907.8 47×58cm 1枚 20万分の1	
13		L291.03/D3/55-3	福島〔地図〕 大日本帝国陸地測量部／〔編〕 大日本帝国陸地測量部 1911.11 46×58cm 1枚 5万分の1	
14		L291.03/D3/58	常葉〔地図〕 大日本帝国陸地測量部／〔編〕 大日本帝国陸地測量部 1919.2 46×58cm 1枚 5万分の1	
15		L291.03/D5/1	新潟〔地図〕 大日本帝国陸地測量部／〔編〕 大日本帝国陸地測量部 1921.9 46×58cm 地図1枚 20万分の1	
16		L291.03/D5/2	福島〔地図〕 大日本帝国陸地測量部／〔編〕 大日本帝国陸地測量部 1921.11 46×58cm 地図1枚 20万分の1	
17		L291.03/T7/1	実測福島県交通地図 東京日日新聞／編 東京日日新聞 1920.2 54×78cm 地図1枚	
18	○	L291.1/M2/1	福島名勝誌 守屋豊次郎／著 是一堂 1903 15cm 206p 図版 地図	「福島市街図」1枚折込
19		L291.1/O2/1	福島市街地図及汽車時間表〔押野印刷所／編〕 押野印刷所(印刷) [1926?] 11×15cm(折りたたみ11×7cm) 1枚	
20		L291.4/T18/1	現時の田村 福島県田村郡役所／編輯 福島県田村郡役所 1915.4 19cm 200p 図版9枚	「田村郡全図/里程附田村郡全図」1枚別紙両面刷 20万分の1
21		L291.5/F1/1	関の名勝 福島県西白河郡協賛会／編 福島県西白河郡協賛会 1913 22cm 47p 図版地図	「西白河郡全図」1枚折込,「白河市街図」1枚
22		L291.5/N1/1	西白河郡誌 西白河郡協賛会／編 西白河郡協賛会 1911.10 23cm 124p 口絵 地図 挿絵	「西白河郡全図」1枚折込
23		L291.5/S18/1	福島縣白河町真景 白河商工会議所／〔作成〕 白河商工会議所 [出版年不明] 55×79cm 1枚	※大正15年発行のもの復刻
24		L291.6/F20/1	福島県廳備付 若松縣第四大区全図(明治七年)抄寫 [出版者不明] [出版年不明] 47×57cm(折りたたみ47×35cm 地図1枚)	
25		L291.6/H4/1-1	東山僊境 蓮沼 叢雲／著 叢雲閣書齋 1900.6 23cm 3, 16, 66, 4p 図版1枚 地図1枚	「東山温泉略図」1枚

26	○	L291.6/K31/1	若松市を中心としたる会津案内 菊池 研介／編 会津資料保存会 1922.7 15cm 148p 図版10枚 地図2枚	「若松市街図」1枚折込, 「磐梯山登山案内図」1枚折込
27		L291.6/S29/1	最新若松市地図 鈴木 三郎／著 鈴木 三郎 1914.9 40×55cm 地図1枚	
28	○	L291.6/W3/2	若松市郷土誌 若松市役所／編 会津日報社 1914.6 22cm 185p 地図3枚	「蘆名時代黒川城市図」1枚折込, 「会津鶴ヶ城縮図」1枚折込, 「福島県若松市全図」1枚折込
29		L291.6/W3/3	若松市案内 若松市役所／〔編〕 若松市役所 1918.4 18cm 33p 図版4枚 地図1枚	「若松市街図」1枚折込
30		L291.8/T1/1	磐城平案内 平町／編 平町 1917.10 18cm 58p 口絵 挿絵	「平町全図」1枚折込 8千分の1
31	○	L291/F2/1-2-1	福島県地誌略 上巻 福島県／編 福島県 1881 22cm 34丁	「福島県管内全図」1枚折込
32		L291/F20/1	福島県地理書 福島同窓会／著 金港堂書籍 1894.6 23cm 62p	〔福島県全図〕1枚折込
33	○	L291/Y1/1	福島県小地理書 矢崎 千尋／著 進振堂 1888.10 22cm 27丁	〔福島県全図〕1枚折込
34	○	L338.2/F1/1	福島県農工銀行沿革史 福島県農工銀行／編 福島県農工銀行 1913.7 22cm 462p 図版 口絵 地図	「福島県管内全図」1枚折込, 「福島県農工銀行貸付金色別図」1枚折込
35		L351.2/A3/1	福島県安達郡勢一斑 福島県安達郡生産額一覧表 大正十年調 安達郡役所 1921.11 39×53cm (折りたたみ14×9cm) 2枚	「福島県安達郡全図」1枚折込 10万8千分の1
36		L351.2/A4/1	安達郡統計一覧表 安達郡農会 [1911.2] 37×55cm (折りたたみ15×8cm) 1枚	「福島県安達郡全図」1枚折込 10万8千分の1
37		L351.2/D1/2	福島県伊達郡勢一斑 大正8年 福島県伊達郡役所／〔編〕 福島県伊達郡役所 1919.10 47×63cm (折りたたみ24×16cm) 1枚	「福島県伊達郡全図」1枚
38		L351.6/K1/3	福島県北会津郡勢一斑 [北会津郡] 1912 40×54cm (折りたたみ16×9cm) 1枚	「福島県北会津郡全図」1枚折込 7万5千分の1
39		L351.6/Y1/1-1	福島県耶麻郡勢一斑 耶麻郡／編 [耶麻郡] 1912.12 39×52cm (折りたたみ15×9cm) 1枚	「耶麻郡全図」1枚折込, 15万分の1

40		L516.1/T4/1	岩越線 新發田線 村上線鐵道建設概要 鐵道院若松建設事務所／〔編〕 鐵道院若松建設事務所 1914.11 23cm 54p	「岩越線喜多方新津間鐵道線路概要圖」1枚折込 20万分の1, 「新發田線新津新發田村上線新發田村上間鐵道線路概要圖」1枚折込 20万分の1
41		L614.5/N2/6-1	[福島県相馬郡新沼浦干拓耕地整理事業関係図面] [1] [新沼浦干拓耕地整理組合／作成] [相馬干拓株式会社] [1930年代頃] 43-62cm 7枚	※複製資料
42		L614.5/N2/6-2	[福島県相馬郡新沼浦干拓耕地整理事業関係図面] [2] [新沼浦干拓耕地整理組合／作成] [相馬干拓株式会社] [1920-1956] 85-130cm 4枚	※複製資料
43		L614.5/N2/6-3	[福島県相馬郡新沼浦干拓耕地整理事業関係図面] [3] [新沼浦干拓耕地整理組合／作成] [相馬干拓株式会社] [1930年代頃] 74-80cm 11枚	※複製資料
44		L614.6/T1/1	[武井溜池関係複製図面] [出版者不明] [出版年不明] 36-80cm 11枚	※複製資料
45		L630.2/T1/1	伊達の蚕種業 谷津市之助／著 伊達郡蚕種同業組合 1908.4 19cm 84p 口絵、挿絵、地図	「福島県伊達郡全図」1枚折込
46	○	L645.2/F2/2	福島縣産馬案内 福島県／〔編〕 福島県 1914.5 18cm 24p 図版3枚 表3枚 地図2枚	「産馬地略図」1枚折込, 「福島県管内國県有種付所所在地略図」1枚折込
47		L215/I6/1	磐城國東白川郡近津村大字中山本字小山田 後村上天皇皇子寛成親王殿下御墳墓略図 [不明] [出版者不明] [出版年不明] 28×40cm 1枚	
48		L291.3/K24/1	郡山東部整理地図 [出版者不明] [1919] 55×95cmほか 7枚	
49		L291.9/T9/1	宇多郡塚部村[地図] 只野忠哉／〔著〕 [出版者不明] [出版年不明] 28×38cm (折りたたみ20×15cm) 1枚	
50		L351.9/S1/1-2	福島県相馬郡統計書 大正元年 相馬郡／編 相馬郡 1912 23cm 258,6p	「相馬郡全図」1枚折込
51		L453.8/B3/1	磐梯山噴火埋没図 [出版者不明] [1888] 46×60cm 1枚	
52		L540.9/N1/3	浪江電気株式会社供給区域及電線路図 [出版者不明] [1910]写 76×103cm 1枚	

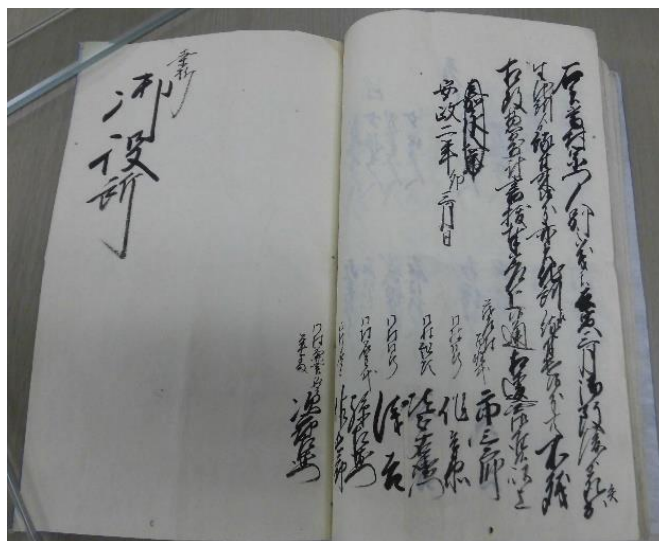
53	L540.9/N1/3	浪江電気株式会社供給区域及電線路図〔出版者不明〕〔1910〕写 76×103cm 1枚
54	L614.3/I1/1-1	福島県第二区 岩代国伊達郡上堰測量全図〔一〕佐藤佐助／測量絵図調〔出版者不明〕〔1876.3〕折りたたみ36×19cm(和紙包入) 1枚(彩色)
55	L614.3/I1/1-2	福島県第二区 岩代国伊達郡上堰測量全図〔二〕〔出版者不明〕〔18--〕折りたたみ29×16cm(和紙袋入) 1枚(彩色)
56	L614.3/I2/1	福島県第二区 岩代国伊達郡湯野村上堰路測量之図 上堰壹号〔出版者不明〕〔1881.11〕折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 6枚(彩色)
57	L614.3/I2/10	福島県第二区 岩代国伊達郡五十澤村上堰路測量之図 上堰拾号〔出版者不明〕〔18--〕折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 2枚(彩色)
58	L614.3/I2/2	福島県第二区 岩代国伊達郡 塩野目村 松原村 上堰路測量之図 上堰貳号〔出版者不明〕〔1881.12〕折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 3枚(彩色)
59	L614.3/I2/3	福島県第二区 岩代国伊達郡 成田村 万正寺村 上堰路測量之図 上堰三号〔出版者不明〕〔18--〕折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 3枚(彩色)
60	L614.3/I2/4	福島県第二区 岩代国伊達郡 桑折村 上郡村 谷地村 上堰路測量之図 上堰四号〔出版者不明〕〔18--〕折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 4枚(彩色)
61	L614.3/I2/5	福島県第二区 岩代国伊達郡 南半田村 北半田村 泉田村 小坂村 上堰路測量之図 上堰五号〔出版者不明〕〔18--〕折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 3枚(彩色)
62	L614.3/I2/6	福島県第二区 岩代国伊達郡山崎村上堰路測量之図 上堰六号〔出版者不明〕〔18--〕折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 4枚(彩色)
63	L614.3/I2/7	福島県第二区 岩代国伊達郡石母田村上堰路測量之図 上堰七号〔出版者不明〕〔18--〕折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 3枚(彩色)

64	L614.3/I2/8	福島県第二区 岩代国伊達郡 森山村 西大窪村 東大窪村 光明寺村 上堰路測量之図 上堰八号 [出版者不明] [18--] 折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 4枚(彩色)	
65	L614.3/I2/9	福島県第二区 岩代国伊達郡 西大枝村 東大枝村 上堰路測量之図 上堰九号 [出版者不明] [18--] 折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 4枚(彩色)	
66	L614.3/I3/1	福島県第二区 岩代国伊達郡下堰測量全図 佐藤佐助/測量絵図調 [出版者不明] [1876.3] 折りたたみ33×13cm(和紙包入) 1枚(彩色)	
67	L614.3/I4/1	福島県第二区 岩代国伊達郡湯野村下堰路測量之図 下堰壹号 [出版者不明] [18--] 折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 2枚(彩色)	
68	L614.3/I4/2	福島県第二区 岩代国伊達郡 塩野目村 増田村 下堰路測量之図 下堰貳号 [出版者不明] [18--] 折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 2枚(彩色)	
69	L614.3/I4/3	福島県第二区 岩代国伊達郡 牛沢村 松原村 成田村 下堰路測量之図 下堰三号 [出版者不明] [18--] 折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 2枚(彩色)	
70	L614.3/I4/4	福島県第二区 岩代国伊達郡 桑折村 万正寺村 下堰路測量之図 下堰四号 [出版者不明] [18--] 折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 1枚(彩色)	
71	L614.3/I4/5	福島県第二区 岩代国伊達郡 伊達崎村 上郡村 下郡村 下堰路測量之図 下堰五号 [出版者不明] [18--] 折りたたみ34×13cm(和紙袋入) 3枚(彩色)	
72	L614.3/S9/1	堰地一ヶ村限下編図 [出版者不明] [18--] 28×78cm(折りたたみ19×11cm) 13枚(和紙袋入)	

●は当館HPデジタルライブラリーで公開、○は国立国会図書館デジタルコレクションで公開

(地域資料チーム 田中信乃)

茂庭村文書



『真言宗・禅宗・浄土真宗当卯宗門人別持高相改書上帳』表紙（左）と巻末部分（右）

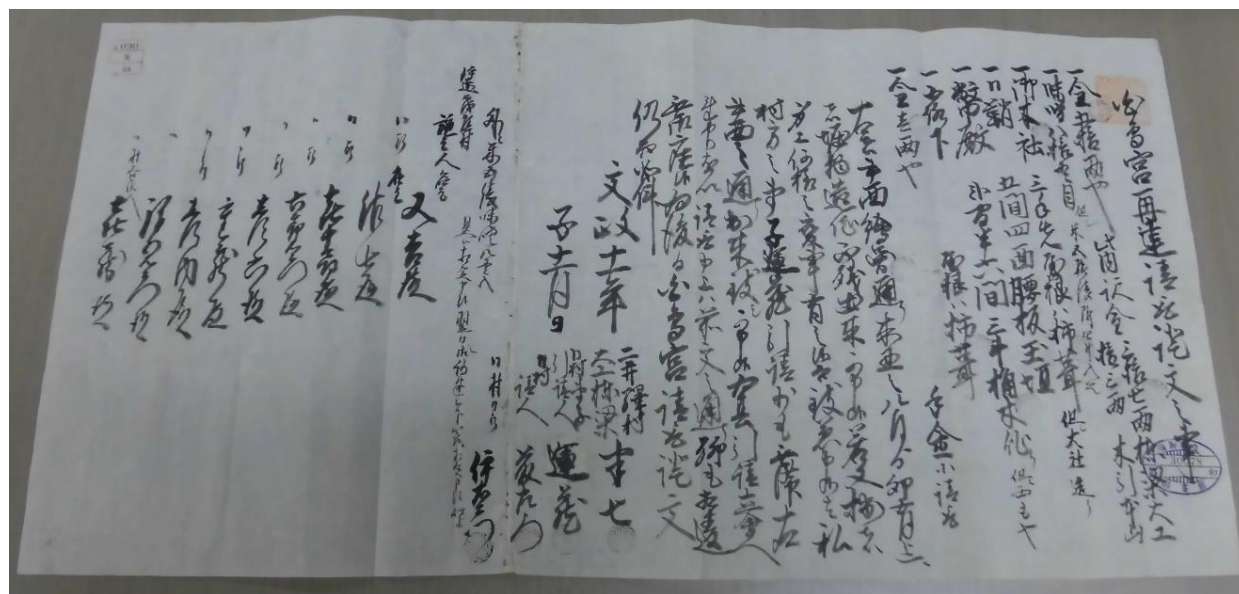
今年度福島県立図書館では「茂庭村文書」についてのデジタル化を行いました。当館所蔵「茂庭村文書」は全36点、すでにその多くが散逸してしまったとされている「茂庭村名主文書」の一部と見られています（福島県歴史資料館でも「旧茂庭村文書」として390点を収蔵）。図書台帳によるとその多くが昭和36年8月に古今堂書店より購入したもので、縦帳の形態が21点、一枚ものの書状の形態が15点です。年代は、不明のものもありますが、享保11（1726）年から慶応4（1868）年にかけて出されたと見られ、内容としては検地帳、宗門人別改帳、名寄帳のほか、上申文書、借用証文、質地証文、請取証文などが主なものとなっています。宗門人別改帳は5点あり一番古いものは天保12（1841）年、順に嘉永2（1849）年、嘉永5（1852）年、安政2（1855）年、安政6（1859）年に出されたもので、時期的には寛政元（1789）年から幕末までの幕府直轄領の時ものと推測され、全て巻末部分には提出先である「桑折御役所」の文字が見て取れます。

茂庭と言えば、茂庭氏の祖である斎藤実良が当時の菅沼に住んでいた大蛇を退治して生贄の娘を救った伝説が有名ですが、この伝説にも出てくる白鳥神社について『白鳥宮再建請取証文之事』という書状が残っていました。白鳥神社について『日本歴史地名大系 第7巻 福島県の地名』には「現社殿は文政一三年（1830）の建立。」とあり、この『白鳥宮再建請取証文之事』には「文政十一年」の文字が見えますので、建立に関しての何らかの文書ではないかと推測できます。

また、安政7（1860）年の茂庭村上下両組小前惣代源左衛門ら三名が、上組名主佐七の不正をあげたとされる事件「茂庭騒動」も知られているところですが、「上組名主佐七」の名前の入った文書で「茂庭騒動」の年代と近いもので「奉差上始末書 茂庭村上組佐七」文久1（1861）年、「乍恐以書付御嘆願奉申上候」元治1（1864）年、「名主 押領 一件 返答書 案」元治1（1864）年などいくつか残っており、「茂庭騒動」以外にも名主と村人の間で度重なる揉め事や争い事があったことが伺えます。

古文書を読み解く作業は大変な労力を要することですが、今回デジタル化したことで資料を傷つけることなくじっくりと読むことができたり、また小さな文字を拡大して見たりすることなどが容易になりました。いずれの文書にしても茂庭村を含めた信達地方の近世史を紐とく手がかりとなる資料となりそうですので、デジタル化によって今後の研究が進むことを期待しているところです。

デジタル化した資料は、CD-ROMに保存しており、館外への貸出も可能ですので、この機会にぜひご利用ください。



『白鳥宮再建請取証文之事』

<参考文献>

- 『日本歴史地名大系 第7巻 福島県の地名』 平凡社 1993
- 『福島市史 別巻5 福島町の町と村 I』 福島市史編纂委員会／編 福島市教育委員会 1982
- 『茂庭の大蛇』 福島商工会議所婦人会／編 福島商工会議所婦人会 2000
- 『福島市史 第9巻 近世資料』 福島市史編纂委員会／編 福島市教育委員会 1971
- 『福島市史 別巻7 福島の文化』 福島市史編纂委員会／編 岩瀬書店 1989

(地域資料チーム 加藤麻依子)

デジタル化した茂庭村文書（36点）	
延宝弍甲寅年伊達郡西根之内茂庭村御検地内訳帳 享保11（1726）	拝借証文・質地帳〔嘉永4（1851）〕
延宝弍年寅四月西根領茂庭村新田改御検地帳 享保11（1726）	拝借証文質地帳 嘉永4（1851）
西根領茂庭村新田改御検地帳 享保11（1726）	真言宗・禅宗・浄土真宗当子宗門人別持高相改書上帳 嘉永5（1852）
申年開新田亥年改書上申帳 享保12（1727）	覚〔嘉永6（1853）〕
本田名寄帳 明和10（1773）	真言宗・禅宗・浄土真宗当卯宗門人別持高相改書上帳 安政2（1855）
新田名寄帳 明和10（1773）	畑高漆野役雑木林永代売譲申証文之事 安政2（1855）
去申拝借金丙ヨリ午迄拾ヶ年返納割合帳〔文政10（1827）〕	御金拝借証文之事 安政3（1856）
白鳥宮再建請取証文之事 文政11（1828）	家数人別嘉永三戌ヨリ同七寅迄五ヶ年分書上帳 控 安政3（1856）
御園高御取調書上帳 天保3（1832）	金子借用申証文之事 安政5（1858）
五ヶ年賦御貸附金拝借証文 天保3（1832）	真言宗・禅宗・浄土真宗当未宗門人別持高相改書上扣帳 安政6（1859）
誰門代官所何国何郡何村高反別小前帳案〔天保4年（1833）〕	差出申一札之事 安政6（1859）
乍恐以書付御答奉申上候 天保5（1834）	奉差上始末書 文久1（1861）
高反別不納屋舗家数人別牛馬相改書上帳〔天保9（1838）〕	対談一札之事 文久1（1861）
乍恐以書付御答奉申上候 天保10（1839）	差出申侘書之事 文久1（1861）
真言宗・禅宗・浄土真宗当丑宗門人別持高相改書上扣帳 天保12（1841）	乍恐以書付御歎願奉申上候 元治1（1864）
乍恐以書付奉願上候 天保15（1844）	〔名主 押領 一件 返答書 案〕〔元治1（1864）〕
乍恐以書付ヲ奉願上候 天保15（1844）	乍恐以書付御答奉申上候 慶応4（1868）
真言宗・禅宗・浄土真宗当酉宗門人別持高相改書上帳 嘉永2（1849）	当村不納地相改書上帳〔不明〕

令和2年度「朝河貫一博士から学ぶ ふくしまの未来 講演会」実施報告

「朝河貫一の歴史学の現代的意義 — 「日欧比較封建制」から「日本人の国民性」の分析へ—

講師：甚野 尚志 氏（早稲田大学文学学術院教授）

開催日：令和2年8月10日（月） 14：00～15：30

参加人数：88名 会場：福島県立図書館 講堂

福島県出身の国際的な歴史学者、朝河貫一について講演していただきました。朝河がアメリカのイェール大学で成し遂げた歴史学の業績と、書簡を通じて発信した戦争回避へのメッセージについて、様々な資料を交えながらお話いただきました。

はじめに、2020年1月から2月に早稲田大学歴史館で行われた展示「海を渡ったサムライ〜朝河貫一」展を紹介し、そこで福島県立図書館の「朝河貫一資料」展示セットとともに展示された、立子山時代の友人宅で発見された新資料や、早稲田大学演劇博物館が所蔵する朝河から坪内逍遙に宛てた書簡をとりあげ、朝河の立子山時代の恋愛や坪内逍遙との関係などについて解説していただきました。

また、朝河貫一の歴史学研究の功績について詳しくお話いただきました。朝河は日本における封建的土地所有についてヨーロッパ中世の封建制と比較分析し、「比較法制史学者」として業績を残しました。1929年に発行した『入来文書(The Documents of Iriki)』では、日本中世史の史料用語をはじめ英語で体系的に説明し、欧米での日本史研究の基礎を作ったということです。



太平洋戦争開戦の直前、朝河が書簡により戦争を回避しようと努力したことについても、残された書簡を紹介しながらお話いただきました。朝河は自身や友人からの書簡をタイプで打ち直し、多くのコピーを作成してアメリカの友人たちに送り、日本の現状を発信していました。フランクリン・ルーズベルト大統領から昭和天皇への親書送信を働きかけ、朝河自身も草案を執筆したことは知られています。福島県立図書館にもこの草案が残っていますが、同じものが他のアメリカ人にも送られていることや、親書の作成についてはラングドン・ウォーナーからの提案があったことについても触れ、親書草案は朝河を支えたアメリカ人とのネットワークがあっただけあがったものではないか、とのお話もありました。

1940年代には日本人の「国民性」がどのようなものかという研究を行っていたことなども、残された研究ノートを紹介しながら解説していただきました。

参加者は朝河貫一博士の研究や業績に改めて触れ、熱心に耳を傾けているようでした。

※講演会にあわせて、令和2年8月7日(金)～9月2日(水)にかけて、関連する書簡や図書の展示を行いました。
(地域資料チーム 板津恵子)

令和2年度「ふくしまを知る連続講座」 実施報告

当館では県民の皆様の文化振興に寄与するため、「ふくしまを知る連続講座」を実施しています。ここでは今年度開催したものを簡単に紹介します。

第1回 「古関裕而、青春時代の福島と仲間たち」

講師： 守谷 早苗 氏（福島市史編纂室／民俗芸能を継承するふくしまの会理事）

開催日： 令和2年8月30日（日）14：00～15：30 参加人数：66名

古関裕而は、「栄冠は君に輝く」や「長崎の鐘」など数々の名曲を生み出した、福島市出身の作曲家です。昨年は、彼が主人公のモデルとなった、NHK朝の連続テレビ小説「エール」が放送され、話題となりました。

今回の講座では古関裕而とその仲間たちについて、古関裕而の幼少期から青春期の年譜と照らし合わせながら、当時の福島の文化を交えてお話いただきました。

「福島県物産陳列館」や「日本銀行福島支店」など、明治から昭和にかけての福島の建築物や情景、古関裕而自身が撮影した妻・金子の写真なども紹介いただき、当時の福島に思いを巡らせながら、お話を伺いました。また、「エール」のお話も交えながらの説明もあり、参加者が楽しみながら耳を傾ける様子が見られました。

福島の仲間たちでは、「福島行進曲」や「福島ブルース」などの詞を手掛けた作詞家・野村俊夫、「イヨマンテの夜」などを歌った歌手・伊藤久男、古関をレコード会社・日本コロムビアに推薦した作曲家・山田耕筰など、古関を支え、導いた人々が紹介されました。また、美人画で有名な日本画家であり、「福島夜曲」の作詞も手掛けた竹久夢二が福島を訪れたことについても、当時の新聞記事に加え、守谷先生の説も交えてお話いただきました。

古関の幼少期の福島は繁栄しており、青春期は不況に見舞われています。古関は幼いころから貴重な蓄音機・レコードなどで音楽に触れる機会が多くありました。その後不況によって実家の呉服店が倒産したため、その後を継がずに、音楽の道へ進むことができます。そういった福島の状況が、作曲家・古関裕而を生んだ一因となっているとのお話もありました。

今回の講座を通して、古関裕而が、本人の才能や努力はもちろんのこと、福島で多くの仲間たち、環境に恵まれ、作曲家として大成していったことを改めて感じることができました。

※令和2年2月20日（木）から12月2日（水）まで、古関裕而に関する資料のミニ展示を行いました。

（地域資料チーム 横田愛美）



第2回 「江戸時代の絵図でつなぐ今と昔」

講師：小野 孝太郎 氏（福島県歴史資料館 副主任学芸員）

開催日：令和2年11月28日（土）14：00～15：30 参加人数：61名

絵図の見方や魅力について、江戸時代に描かれた集落・山川・寺社・史跡などの説明を交えながらお話しいただきました。

絵図には目的に応じて様々な種類があり、その中で最も多いのが村絵図です。村絵図には村内の様々な実態が描かれており、目的としては年貢のため領主へ田畑の場所や大きさなどを伝えることや、自分たちの覚えがきとして村の史跡や家の場所を残す意味合いがあるそうです。

ほか道中図（街道や航路における宿・村・港間の距離情報や行程をかいたもの。主に旅人が見る）や水路図（航行の行程を描いた舟運図や分水状況を描いた堰絵図、治水状況などを描いた川筋絵図がある）などがあります。



これ以外にも絵図には「国絵図」、「群絵図」、「裁許絵図」（奉行の下した判決が描かれたもの。絵図の裏に文字が書かれる）等があり、当時の状況を伝えています。

江戸時代の絵図を読む際のポイントとしては、当時使われた御家流による崩し字を解読するスキルを身に着けること、地名辞典を用いて土地の基本情報を把握

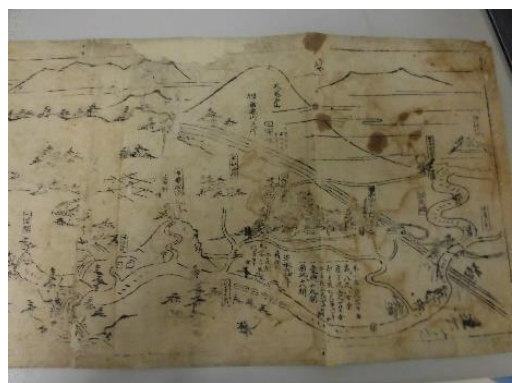
すること、地図（古地図）と絵図を比較すること、実地調査で景色や風土などを見ることなどが挙げられました。また、絵図から情報を読み取るための注意力も重要とのことでした。

ほか、絵図の注意する点として現代の地図と違い北を上固定していないこと、表題がないものについては年代・場所を推定する必要があることなどを挙げられました。

以上の点を踏まえながら、実際に描かれた絵図について説明していただきました。道中図である「奥州道中絵図」には「流し木」が描かれ当時の習俗を伝えています。また、「陸奥国信夫郡下鳥渡村絵図」や「西大枝村絵図」では絵図内に何気なく描かれた人名・村名や寺社・史跡・街道の様子から当時の地域の様子を伺い知ることができました。

絵図を読む意義については、自分自の知的好奇心を高め、地域の連続性とアイデンティティを感じられることであるというお話がありました。こうした絵図を保存し、後世に伝えていくことの重要性を改めて感じることができる講座でした。

※この講座は、令和2年11月6日（金）～12月2日（水）にかけて当館で開催された、「福島県歴史資料館移動展示 描かれた江戸時代の伊達郡」の関連事業です。



『義経腰掛松之図・大木戸山・弁慶硯石案内』 1781年
福島県立図書館 蔵
藤田村（現国見町）の宿場の様子が描かれる。

（地域資料チーム 佐藤妙）

福島県関係書誌の紹介・2020

このリストは、当館で所蔵する2020年1月から12月までに刊行された福島県関係の資料のなかで、1つの主題や人物について20以上の文献を紹介しているものを集成した書誌です。(一部の主題は20以下でも収録しています)

主題編と人物編に区分し、それぞれ主題、人名の50音順、発行年月順に配列しました。なお、主題は検索の便宜を優先して付けましたので、厳密な体系化は考慮していません。

2019年以前発行資料で、「福島県関係書誌の紹介・2019」に未収録のものも併せて集録しました。

特定の主題、人物についての文献リストとして活用していただければ幸いです。

凡例

主題

⇨関連主題

・(掲載数)項目

「論文名」編著者 『資料名』編著者

出版者 発行月 項目掲載頁

*備考

主題編

安積疏水

・(27)参考文献

『歴史点描 安積疏水 ゆかりの地を巡る』
郡山市開成館/[編]・発行 2019年 p
[10]

阿武隈川

・(28)主な参考文献

『阿武隈川物語』会田正宣/著 河北新
報出版センター 2019年11月
p186-187

医学・医療

⇨太田総合病院

・(33)発表論文

『太田総合病院学術年報 第55号』太
田総合病院 9月 p33-50

医学・医療

⇨福島県立医科大学

・福島県立医科大学業績 論文・著書・研究発表等

『福島県立医科大学業績集 平成30年』
福島県立医科大学附属学術情報センター
3月 p1-620

移民

・(101)主な参考・引用資料

『知られざる福島移民』紺野滋/著 歴
史春秋出版 7月 p351-358

柏木城

⇨城郭

・(223)引用参考文献

『柏木城跡』(北塩原村文化財調査報告
書 第4集) 北塩原村教育委員会/編・
発行 3月 p233-238

観光

・(34)参考文献

『ふくしまの旅』福島県立博物館/編・発
行 4月 p87

看護学

⇨福島県立医科大学

・(88)業績一覧

『福島県立医科大学看護学部紀要 第22
号』福島県立医科大学看護学部 3月
p45-54 *業績一覧から著書や論文の
数を掲出

北中谷地遺跡

⇨浪江町

・(120)引用・参考文献

『北中谷地遺跡』(浪江町埋蔵文化財調
査報告 第22冊) イビソク/編 浪江町教
育委員会 3月 p293-296

古代湖

⇨郡山市

・(45)参考文献

『郡山は古代湖だった』菅原稔/著 歴
史春秋出版 4月 p174-176

正直古墳群

⇨郡山市

- ・(22)参考文献
『正直古墳群 正直古墳群調査保存事業
第2次発掘調査報告』郡山市文化・学び
振興公社文化財調査研究センター／編
郡山市教育委員会 2019年3月 p50

震災遺構

⇨東日本大震災

- ・(27)参考文献
「東日本大震災の記録を残す活動と震災
遺物保存の意味」深谷直弘／著『東日
本大震災と<自立・支援>の生活記録』
六花出版 7月 p683-685

新地町

⇨東日本大震災

- ・(25)参考文献
「産業創出を核とした復興まちづくり」大
塚彩美／ほか著『東日本大震災と<自
立・支援>の生活記録』六花出版 7月
p146-147

絶滅危惧種

⇨植物

- ・(40)引用文献
「調査報告 福島県における新たなレッドリ
スト改定手順の試みとそれに基づくふくし
まレッドリスト(2018年版)植物(シダ植
物,種子植物)の作成」黒沢高秀[ほか
／著]『福島大学地域創造31(2)』
2月 p84-86

蔵書目録

- ・(40)引用文献
『山口弥一郎旧蔵資料調査報告書』(福
島県立博物館調査報告 第41集)内山
大介／編 福島県立博物館 3月
p11-62
- ・(404)購入図書一覧(令和元年度(平成31
年度)),寄贈図書一覧(令和元年度(平成31
年度))

『福島県議会資料 議会資料 令和2年2
月～3月号』福島県議会事務局政務調査
課 4月 p184-199

総目次

- ・(381)相馬郷土掲載論文一覧
『相馬郷土 No.35』相馬郷土研究会 4
月 p57-72
- ・(303)福島大学総合教育研究センター紀要
投稿論文一覧
「福島大学総合教育研究センター紀要掲
載論文の特徴について」岡田努／[著]
『福島大学総合教育研究センター紀要 第
27号』福島大学総合教育研究センター
2019年9月 p48-50

高木遺跡

⇨須賀川市

- ・(171)引用・参考文献
『阿武隈川上流河川改修事業高木地区遺
跡調査報告 第1分冊本文編2』(福島県
文化財調査報告書 第531集)福島県教
育委員会 2019年3月 p351-354

地域福祉

⇨檜葉町

- ・(33)参考文献
「避難指示解除後の地域福祉の課題」齊
藤綾美／著『東日本大震災と<自立・支
援>の生活記録』六花出版 7月
p381-383

底生動物

- ・(38)引用文献
「調査報告 長瀬川の表層梯地域の流域
における底生動物相」塘忠顕・横山拓未
／[共著]『福島大学地域創造31(2)』
2月 p65-66

図書館

- ・『福島図書館研究所通信』1～20号(2004
～2014)執筆別記事一覧
『福島図書館研究所のこれまで 1999～
2020年』福島図書館研究所／編・発行
2020 p15-26

富岡町

- ・(40)引用・参考文献
『県道広野小高線関連遺跡発掘調査報告
2』(福島県文化財調査報告書 第538
集) 福島県文化振興財団遺跡調査部/
編集 福島県教育委員会 2月 p196

勿来関

- ・(53)「勿来関」関連参考文献
『勿来関』橋本吉治/編著 勿来関研究
会Ⅱ 10月 p343-345

西会津町

- ・(50)引用・参考文献
『越後街道と西会津人』田崎敬修/著・
発行 5月 p509

東日本大震災

- ・(42)引用・参考文献
「研究ノート 災害時における外国人支援
一東日本大震災以降における被災3県の
地域国際化協会の取り組みから」幕田順
子/[著] 『福島大学地域創造31(2)』
2月 p49-51
- ・(25)参考文献
「復興することの物語とその主体」山田
修司/著 『東日本大震災と<自立・支援
>の生活記録』 六花出版 7月
p302-304

⇔生物多様性

- ・(27)引用文献
「調査報告 東日本大震災の福島県内津
波被災地で行われている復旧・復興事業
と生物多様性保全の取り組み」黒沢高秀
/[著] 『福島大学地域創造31(2)』
2月 p96-97

⇔農業

- ・(25)参考文献
「農業復興支援の可能性と課題」三浦
倫平/著 『東日本大震災と<自立・支援
>の生活記録』 六花出版 7月
p578-579

避難計画

⇔いわき市

- ・(28)参考文献・URL
「住民組織主導による自立的な避難体制
構築に向けた支援」班目佳小里・松本行
真/共著 『東日本大震災と<自立・支援
>の生活記録』 六花出版 7月
p356-358

ビャッコイ

- ・(29)参考文献
『ビャッコイ(*Isolepis crassius* Hook.f.
or *Scirpus Pseudo fluitans* Makino)
の植生に及ぼす影響の評価』についての
私的調査・報告書 武藤 宏/著・発行
10月 p52-54

福島第一原子力発電所事故

- ・(41)参考文献
「科学技術と市民」とフクシマ」佐藤恭
子/著 『21世紀の新しい社会運動とフク
シマ』 八朔社 3月 p139-142
- ・(44)参考文献
「2011年のグローバルな運動とフクシマ
を貫くもの」後藤康夫/著 『21世紀の
新しい社会運動とフクシマ』 八朔社 3月
p82-84
- ・(24)参考文献
「グローバルヒバクシャとフクシマをつな
ぐ」藍原寛子/著 『21世紀の新しい
社会運動とフクシマ』 八朔社 3月
p111-112
- ・(29)参考文献
「原子力災害からの復興過程における共
同性の諸相」松本行真/著 『東日本大
震災と<自立・支援>の生活記録』 六花
出版 7月 p217-219
- ・(24)参考文献
「原発事故被災地の復興に向けたボラン
タリー・ネットワークの取り組みと課題」加
井佑佳・松本行真/共著 『東日本大震災

と<自立・支援>の生活記録』六花出版
7月 p246-247

- ・(26)参考文献
「立ち上がった被災者のNPO」中里知
永／著 『21世紀の新しい社会運動とフ
クシマ』八朔社 3月 p184

- ・(94)参考文献
『原発は日本を滅ぼす』青谷知己／著
緑風出版 2月 p220-224

戊辰戦争

⇔昭和村

- ・(102)参考文献
『会津野尻組の戊辰戦争』菅家博昭／著
からむしエ芸博物館 2013年 10月
p96-100

文書目録

- ・(822)
『郡山市歴史資料館収蔵資料目録第34
集 立岩家文書』3月 p1-43
- ・(655)
『福島県歴史資料館収蔵資料目録 第51
集 下鳥渡区有文書(その1) 今村文直
家文書 丹治昭夫家文書』福島県文化
センター歴史資料課／編集 福島県文化
振興財団 3月 54p

⇔石川町

- ・(2116)
『福島県石川町史資料目録 第15集 旧
野木沢村役場文書1』石川町教育委員会
／編集 石川町 3月 101p

人物編

蘆名氏

- ・(133)蘆名氏研究関連文献
『柏木城跡』(北塩原村文化財調査報告
第4集)北塩原村教育委員会／編・発行
3月 p271-274

蒲生氏郷

- ・(66)参考文献
『蒲生氏郷が攻めた城・築いた城』福永
保／著 サンライズ出版 9月 巻末

功刀俊洋

- ・(57)主要業績
「功刀俊洋教授の略歴及び業績目録」
『行政社会論集 第32巻第3号』3月
p2-6

古関裕而

- ・(106)参考文献
『古関裕而』(中公新書) 刑部芳則／著
中央公論新社 2019年 11月
p256-260
- ・(105)主要参考文献
『古関裕而の昭和史』(文春新書) 辻田
真佐憲／著 文藝春秋 3月 p296-301

後藤史子

- ・(25)主要業績
「後藤史子教授の略歴及び業績目録」
『行政社会論集 第32巻第3号』3月
p8-10

首藤保之助

- ・(24)主要参考文献
『帰ってきた阿武隈考古館』須賀川市立
博物館／編・発行 7月 p69

鈴木梅子

- ・(55)主要参考文献
『鈴木梅子の詩と生涯』西田朋／著 土
曜美術社出版販売 8月 p349-352

瀬戸正人

- ・(107) 主要文献
『記憶の地図 Maps of Memory』瀬戸
正人／著 日本カメラ社 12月
p229-231

円谷英二

- ・(188) 引用/参考文献一覧
『映画「ハワイ・マレー沖海戦」をめぐる
人々』鈴木聡司／著 文芸社 6月
p551-562

天海

- ・(99) 参考文献
『明智光秀は天海上人だった!』大野富次
／著 知道出版 2019年12月
p217-222

徳一

- ・(32) 参考文献
『古代東国の仏教』内山純子／著 青史
出版 2019年12月 p123-125

富田哲

- ・(85) 業績目録
「富田哲教授の略歴及び業績目録」『行
政社会論集 第32巻第4号』3月
p4-11

中井勝己

- ・(33) 主要業績
「中井勝己教授の略歴及び業績目録」
『行政社会論集 第32巻第4号』3月
p14-16

中山義秀

- ・(90) 作品一覧
『厚物咲』中山義秀／著 中山義秀顕彰
会 10月 p246-248

長谷川信

- ・(107) 引用・参考文献
『祈りの碑』長島雄一／著 歴史春秋出
版 10月 p264-270

堀切善次郎

- ・(28) 参考文献
『都市計画家堀切善次郎伝』紺野浩／著
民報印刷 4月 p136-138

町野主水

- ・(64) 引用・参考文献
「愚直に生きた15 町野主水(2)」伊藤
哲也／著 『会津人群像 no.39』2019
年10月 p189

水野仙子

- ・(45) 参考文献
『田山花袋の弟子水野仙子』中島清／
著・発行 2019年7月 p228-231

山口弥一郎

- ・(31) 主要著作目録
『山口弥一郎旧蔵資料調査報告書』(福
島県立博物館調査報告 第41集) 内山
大介／編 福島県立博物館 3月 p10
- ・(22) 参考文献
『山口弥一郎旧蔵資料調査報告書』(福
島県立博物館調査報告 第41集) 内山
大介／編 福島県立博物館 3月 p98

山中現

- ・(167) 自筆文献, 文献, 図録掲載, 版画集・詩
画集, 装幀画・挿画
『山中現全版画』山中現／著 阿部出版
3月 p208-210

(地域資料チーム 田中信乃)

=====

福島県郷土資料情報 No. 61

発行日：2021年3月11日

編集・発行：福島県立図書館

=====